



Aichi-Startup 戦略 主要事業一覧



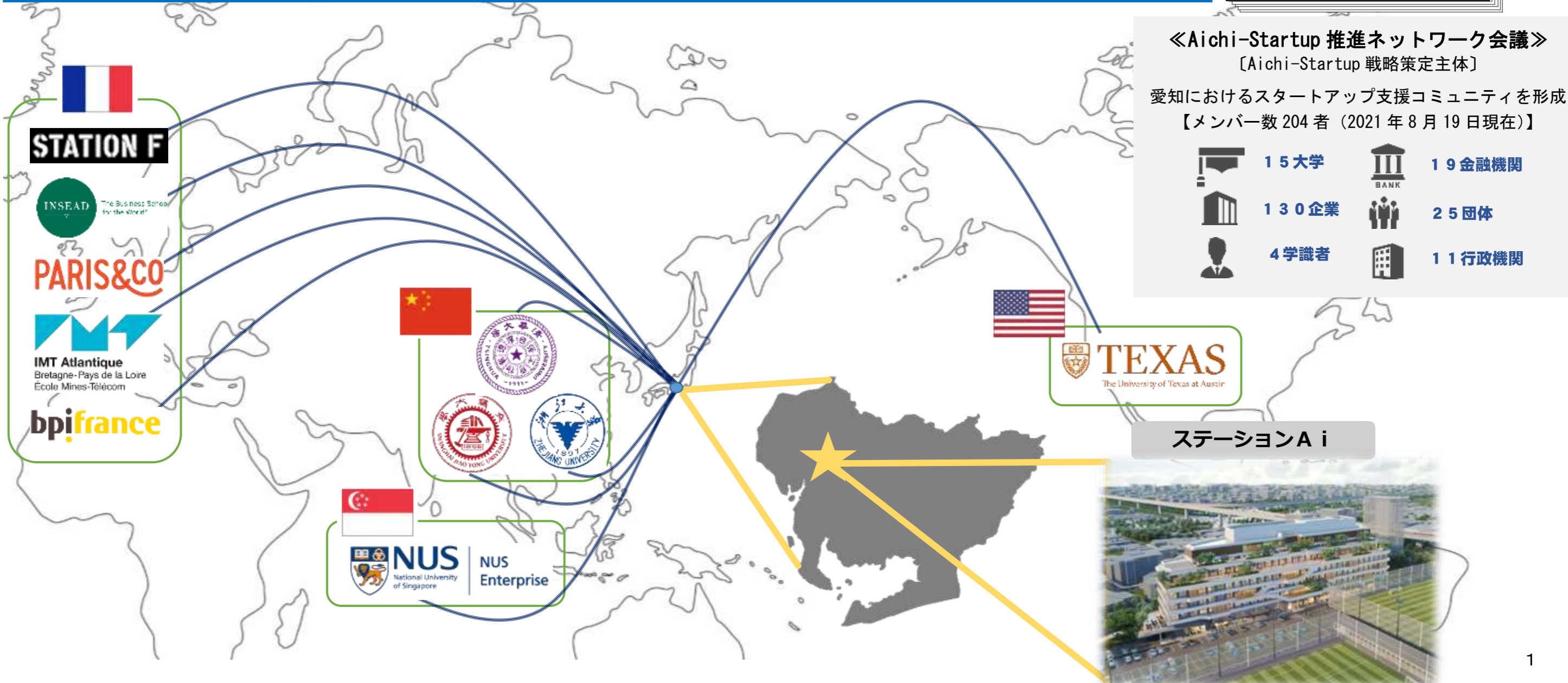
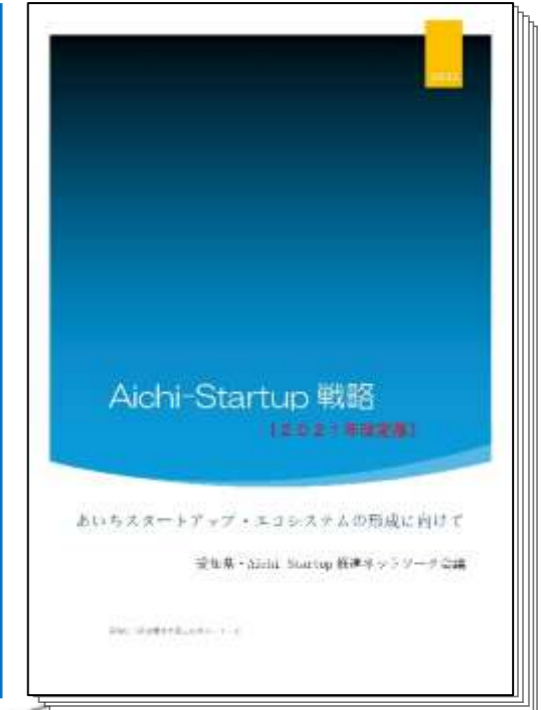
<CONTENTS>

- Aichi-Startup 戦略の枠組み … 1
- 愛知県スタートアップ支援拠点「ステーションAi」 … 2
- 東三河地域におけるサテライト支援拠点の設立に向けた取組 … 5
- 健康長寿社会形成ビジネスモデル創出調査事業 … 6
- 海外スタートアップ支援機関・大学との連携 … 7
- 国内におけるスタートアップ支援事業 … 8
- プレ・ステーションAi事業 … 9
- スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市 … 10

Aichi-Startup 戦略の枠組み

地域総合戦略
「Aichi-Startup 戦略」

- 愛知県独自のスタートアップ・エコシステム形成に向け、2018年10月に「Aichi-Startup 戦略」を策定（2021年3月改定）。企業、大学、経済団体、支援機関、金融機関、行政など関係者の施策をパッケージ化（85の支援プログラムを位置づけ）。
- スタートアップの創出・育成・展開・世界進出への流れと、有力スタートアップを世界から誘引する流れの両面から展開。
- 政策の中核として「ステーションA i プロジェクト」を位置づけ、ハード・ソフトの施策を、日本の中心であるここ愛知で集中的に展開。
- 2024年10月の供用開始を目指して、PFI法に基づくBTコンセッション方式で「ステーションA i」の整備を推進。
- それまでの間、「プレ・ステーションA i」（WeWork グローバルゲート名古屋）で総合支援。
- 海外のスタートアップ支援機関・大学等と連携（現在、10機関・大学）を強化し、「ステーションA i」を中核としたスタートアップ・グローバルコミュニティを形成。
- 世界最有力のスタートアップ・エコシステムとの融合により、世界に類例のない国際的なイノベーション創出拠点を目指す。



「Aichi-Startup 推進ネットワーク会議」
[Aichi-Startup 戦略策定主体]

愛知におけるスタートアップ支援コミュニティを形成
【メンバー数 204 者（2021年8月19日現在）】

15 大学	19 金融機関
130 企業	25 団体
4 学識者	11 行政機関



愛知県スタートアップ支援拠点「ステーションA i」

- 愛知県はスタートアップの創出・育成・展開を図るための拠点施設「ステーションA i」を整備することで、その事業者選定の手続を進めてきた。
- 県は、民間資金等の活用による公共施設等の促進に関する法律（平成11年法律第117条）第8条第1項の規定に基づき、**落札者を「ソフトバンク株式会社」に決定**。
- ソフトバンク㈱から、『「挑戦」と「進化」のDNAで驚異的な成長を続ける「ソフトバンク㈱」が、**5つのコンセプトのもと、最先端のAI・通信技術、世界的企業への投資やJV設立のノウハウを活かし、総力を挙げて整備・運営する**』と提案。
- 県が有する世界の先進的なスタートアップ支援機関・大学とのグローバルなネットワークと、ソフトバンク㈱が有する広範囲な世界的なネットワークを融合し、**世界に類例のないスタートアップ・コミュニティの形成**を目指す。

施設概要（提案段階のものであるため、今後変更の可能性があります。）

建築面積／延床面積	4,391 m ² ／23,098 m ²
構造	鉄骨造
高さ	地上7階地下なし／30.0m

機能	面積
スタートアップ向けオフィス	6,710.88 m ² （パートナー企業等と合わせて定員1,552人）
パートナー企業等向けオフィス	4,859.60 m ²
会議室	327.15 m ²
テック・ラボ	959.87 m ²
イベントスペース	791.98 m ² （うち2階386.14 m ² は飲食スペースと兼用）
宿泊・研修施設	1,564.79 m ² （42室、7階）
託児施設	100.80 m ²
行政支援窓口・人材流動化支援窓口	216.00 m ²
カフェ・レストラン等民間収益施設	1,529.93 m ² （うち飲食スペース386.14 m ² は2階イベントスペースと兼用）
駐車場／駐輪場	647.50 m ² （地上・51台）／64 m ²
共用部	5,907.94 m ² （うち県展示スペース：344.71 m ² ）

落札者グループの構成

代表企業	ソフトバンク株式会社（東京都）	統括管理
協力企業	株式会社石本建築事務所名古屋オフィス（名古屋市中区） 株式会社フジタ（東京都） 合同会社DMM.com（東京都） SBイノベーション株式会社（東京都） シービーアールイー株式会社（東京都） 株式会社トットメイト（名古屋市中区）	設計・施工監理 施工 テック・ラボ運営 スタートアップ支援 維持管理 託児施設運営

事業スケジュール

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度～2034年度
基本協定の締結 ○ 2021年8月 事業仮契約の締結 ○ 令和3年9月議会 事業契約議案の提出 ○ 2021年9月 事業契約の締結 ★ 2021年10月	整備期間 約3年 (設計・建設・供用準備)		2034年9月 供用開始 2024年10月 PFI事業期間10年
運営体制構築			運営・維持管理
設計	建設工事・供用準備		

ソフトバンク株式会社による提案

◎ 本提案のビジョン

「すべての人にスタートアップのワクワクを」

◎ 5つのコンセプト

- ① 「Technology 技術力」、② 「Overseas 海外」、③ 「Comfortable 快適」、④ 「Diversity 多様性」、⑤ 「Collaborate コラボレーション」

◎ 本事業推進のための「4つの柱」

- 柱1：企業とスタートアップが対等な関係で事業を生み出せるオープンイノベーション環境の整備
- 柱2：ターゲットをスタートアップの芽から世界をリードする企業まで
- 柱3：最新テクノロジー・モノづくり・ネットワークの力が支える幅広いアイデアの試作・実証環境を整備
- 柱4：AI・ロボットで安心・快適・スマートな空間を実現、ニューリアリティ時代へ対応

事業費

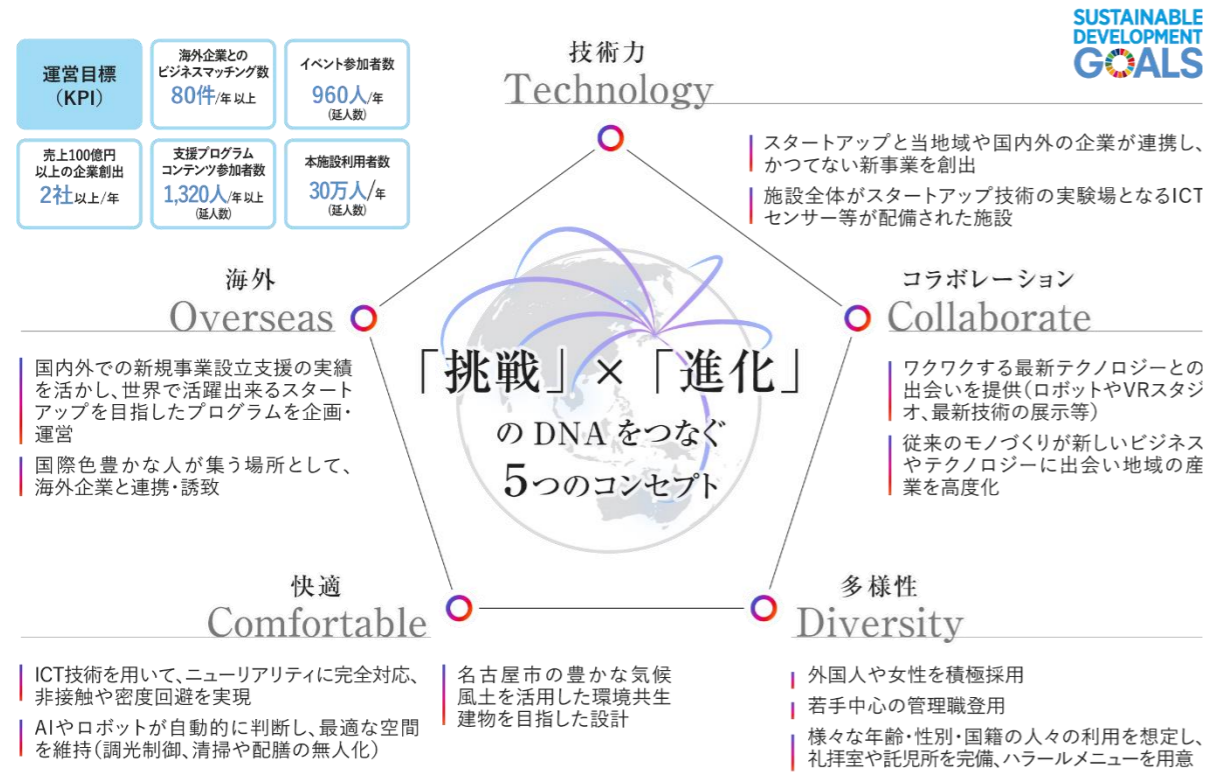
契約予定額

14,348,330,933円（税込）

（運営権対価提案額 2.55億円（税込））



すべての人にスタートアップのワクワクを



世界を意識したブランディングと推進策

世界初、企業とスタートアップが「対等な関係」で事業を生み出せるオープンイノベーション環境

従来型の企業がスタートアップを支える形ではなく、企業とスタートアップが対等な立場で事業創出のために協力できる体制を構築。企業とスタートアップが同じマインドで事業創出に向けて連携することにより、自由で柔軟、かつスピーディに事業が生まれる仕組みを構築。

この仕組を支えるために、SPCが中心となり、貴県、大学、モノづくり企業、海外企業等と連携し、世界に類を見ない、強力なサポート環境を整える。

オフライン（リアル）・オンライン（リモート）を融合して1,000社の集積を図る。

地域性を活かしたターゲット設定とアイデアの試作・実証環境

ターゲット:「スタートアップの芽」から世界をリードする企業まで

スタートアップを始め、本施設を訪れる子供や学生、女性、外国人に至るすべての人のスタートアップマインドを刺激し、スタートアップの芽を醸成。

最新テクノロジー・モノづくり・ネットワークの力が支える幅広いアイデアの試作・実証環境

ソフトバンク(株)のネットワークを生かし、国内外の企業と連携することにより、アイデアの事業化スピードを高める。ラボ施設での試作品づくりだけでなく、本施設全体を実証実験の場としたり、来場者や当地域と連携したモニター調査も可能。

ニューリアリティ、With/After コロナ等の課題への対応

AI・ロボットで「安心・快適・スマート」な空間を実現、ニューリアリティ時代へ対応

DX環境を用いて、オンライン（リモート）とオフライン（リアル）融合による、スタートアップ支援の展開、グローバルコミュニケーションの形成を図る。

施設運営の全般において、ICT技術により体温検知、デジタル認証、非接触、キャッシュレス、館内位置測位や混雑可視化による3密監視や換気制御を実現。



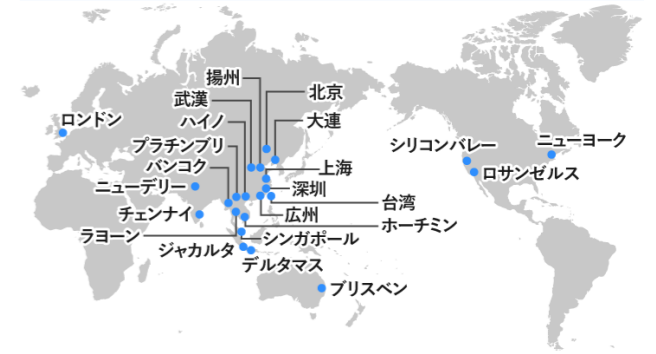
事業の実施体制

最先端技術と地域の魅力を両立させた実施体制

■迅速な意思決定が可能な SPC 企業構成

- ・事業開始時はソフトバンク(株)が100%子会社としてSPCを設立。迅速な意思決定を図る。
- ・海外に精通し、多言語対応可能なグローバル・コミュニティ・マネージャーを設置。
- ・マネジメント層にソフトバンク(株)の社員を起用。特に、若手社員を積極的に起用。
- ・ソフトバンク(株)の国内上場企業95%とのタッチポイント、海外10か国23拠点のネットワークを活用。

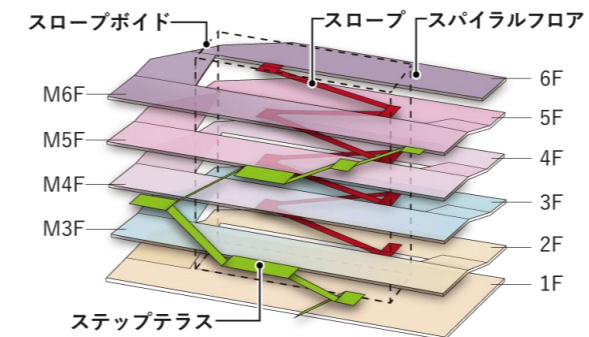
海外主要10か国23拠点を展開



施設概要

建築面積／延床面積	4,391 m ² ／23,098 m ²
建蔽率／容積率	59.8％／303.4％
構造	鉄骨造
高さ	地上7階地下なし／30.0m

スパイラルフロアとステップテラスが構成するステーション Ai DNA



■敷地条件を効果的に活用するスパイラルフロア

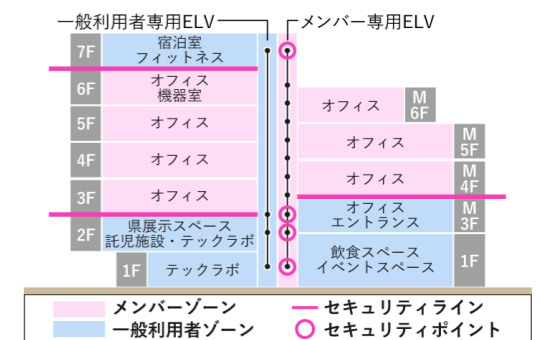
- ・スキップフロア状のスパイラルフロア構成。スロープでらせん状に各フロアをつなぐ。ひとつながりのワークスペース空間を創出し、各階のオフィス空間等のコミュニケーションの活性化。
- ・全フロアをシームレスに移動できるバリアフリー性を確保。ロボットやドローンが自由に移動できる空間を創出。実証実験の場として提供。

■公園と環境的・視覚的に一体化するステップテラス

- ・豊かな景観を提供する鶴舞公園側を大きく開く施設構成とし、公園の豊かな環境をそのまま建物の内部につなげる。ゆるやかに上昇するステップテラスを配置し、環境的にも視覚的にも公園との一体化。

■フロア構成

- ・下層階は、県民が気軽に利用できるゾーン。カフェ・レストラン、イベントスペース、会議室を設け、地域のコミュニティ形成を図る。展示スペースを併設したテック・ラボを設け、スタートアップを身近に感じていただく。
- ・中層階は、ワークスペース。スタートアップ、パートナー企業の交流を活性化させる空間を実現。
- ・最上階は、リフレッシュゾーン。関係者の宿泊施設や健康増進のためのフィットネスジムを設置。

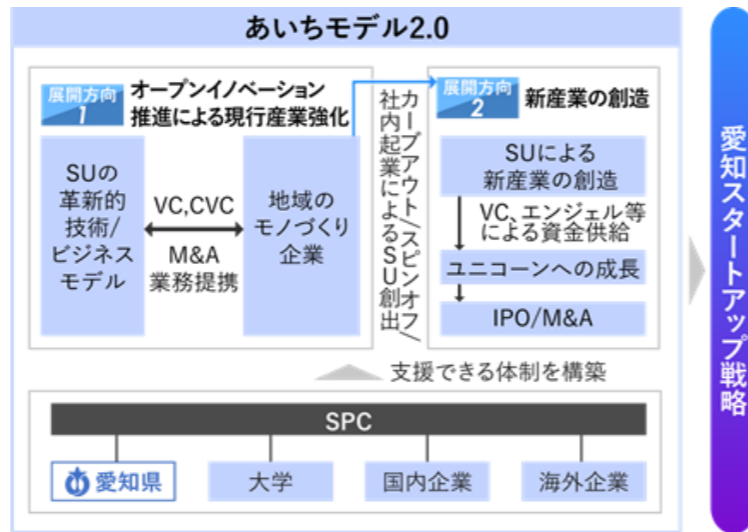


スタートアップ支援

独自の支援プログラム「あいちモデル 2.0」

■オープンイノベーションの推進

- ・ソフトバンク(株)及びグループ会社の英知を結集しスタートアップ支援プログラム「あいちモデル 2.0」を実施。愛知県の持つ、ものづくりの技術力とソフトバンク(株)の強みを活かした独自の支援を実施。
- ・事業創出の促進に向け、SPCを中心に、愛知県、世界有数の技術を有する地元の企業、大学などが連携した支援体制を構築。
- ・企業とスタートアップが対等な立場で事業創出のため協力し合える体制を整備。
- ・プログラム実績 600 件以上のソフトバンク(株)の経験を活かしたプログラムを展開。



■新産業の創造を支えるスタートアップ支援

- ・10 年間、応募件数 7,026 件の運営実績を持つ SB イノベンチャーの支援プログラムを展開。
- ・プレシードからレイターに至るまで各ステージに応じたイベントや講演会、個別相談会等を実施。
- ・Aichi-Startup 推進ネットワークの会員、ベンチャーキャピタル、地元金融機関、女性起業支援企業、県内大学等計 150 団体以上が関心表明。落札後速やかに連携内容と方法を協議し、開業時のスタートアップのニーズに応じた支援プログラムを提供。

地域と連携した、本施設を拠点としたまちづくりや地域貢献

地域との連携を加速させる「鶴舞 Ai PARK」を提供

■「出会う」「磨く」「放つ」の3つのテーマで地域と連携

- ・古くからの地域特性を活かしつつも最先端技術との融合・共存を目標。地域の魅力や声を活かしたまちづくりに向け、SPC ならびに近隣住民、当地域企業からなるエリアマネジメント協議会(仮称)を組成。3つのテーマを軸に地域連携「鶴舞 Ai Park」を推進。



イノベーションを喚起するスマートビルディング

共創と融和が起こるイノベーションを喚起する環境整備と最新 ICT 設備の導入

■共創と融和が起こるオフィス環境の整備

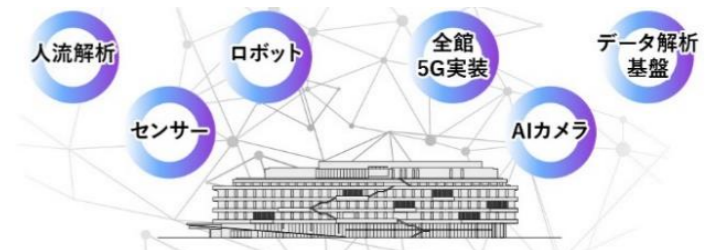
- ・入居者の事業成長促進のため、コミュニケーションを活性化。新たなアイデアが醸成されるような環境整備。多国籍、オールジェンダー、年齢等に関わらず、多様な方が利用しやすい、ダイバーシティの時代における最先端のユニバーサルデザインを採用。

■イノベーションの創出を促す最先端設備

- ・動画・XR コンテンツ収録及び大容量データリアルタイム配信が可能な環境をイベントスペースに整備。リアルとバーチャルを融合したイベント開催による世界への情報発信機能を備える。
- ・世界最高水準のスーパーコンピューターリソースをリーズナブルに提供。現代の先進的なモノづくりを支えるシミュレーションやビッグデータの解析等を行える環境を整備。

■自律的に制御するスマートビルディング

- ・各種センサー、プラットフォームシステムにより現状を測定・可視化し混雑状況を回避。ICT 設備の導入によりビルの管理・運営を最適化し、省エネ対応や感染症対策などにも配慮したスマートビルディングを実現。得られるデータをスタートアップも自由に利活用することで、彼らの実証へも活用。

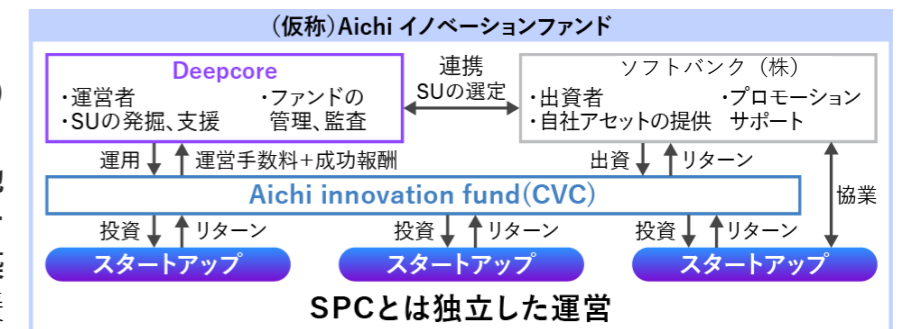


本施設の設置目的の実現に資する事業(任意事業)

「地域」を活かし、「世界」を目指すファンドの創設

■世界を視野に入れつつ、地域に根差したファンドの創設

- ・世界への進出を目指しつつも、モノづくり企業との連携など地域に根ざしたファンドを創設。愛知県に国内外からの注目が集まり、かつてない求心力を創出。
- ・ソフトバンクグループである(株)ディープコアをゼネラル・パートナー、ソフトバンク(株)及び当地域の企業をリミテッド・パートナーとしたファンドの体制を構築し、先駆者的な事業の発掘、支援に努める。



■スタートアップエコシステムの形成

- ・世界をリードするような事業を多く生み出すことにより、世界中からスタートアップの「聖地」として認知させ、スタートアップを志す人々が自然に集まるような拠点を形成。
- ・IPO や M&A で得たリターンを有望企業への投資資金として活用することで、グループ企業群を生み出すスタートアップエコシステムを具体化。

東三河地域におけるサテライト支援拠点の設立に向けた取組

- 2021年10月に設立予定の東三河地域の支援機関、企業、大学、自治体等で構成する「東三河スタートアップ推進協議会」を、ステーションAiのサテライト支援拠点として位置付け。
- 本年度から愛知県が当該地域に統括マネージャーを配置して、総合的な支援を実施中。

【東三河地域におけるサテライト支援拠点について】

＜当面の取組テーマ＞

「農業・食」

＜支援の考え方＞

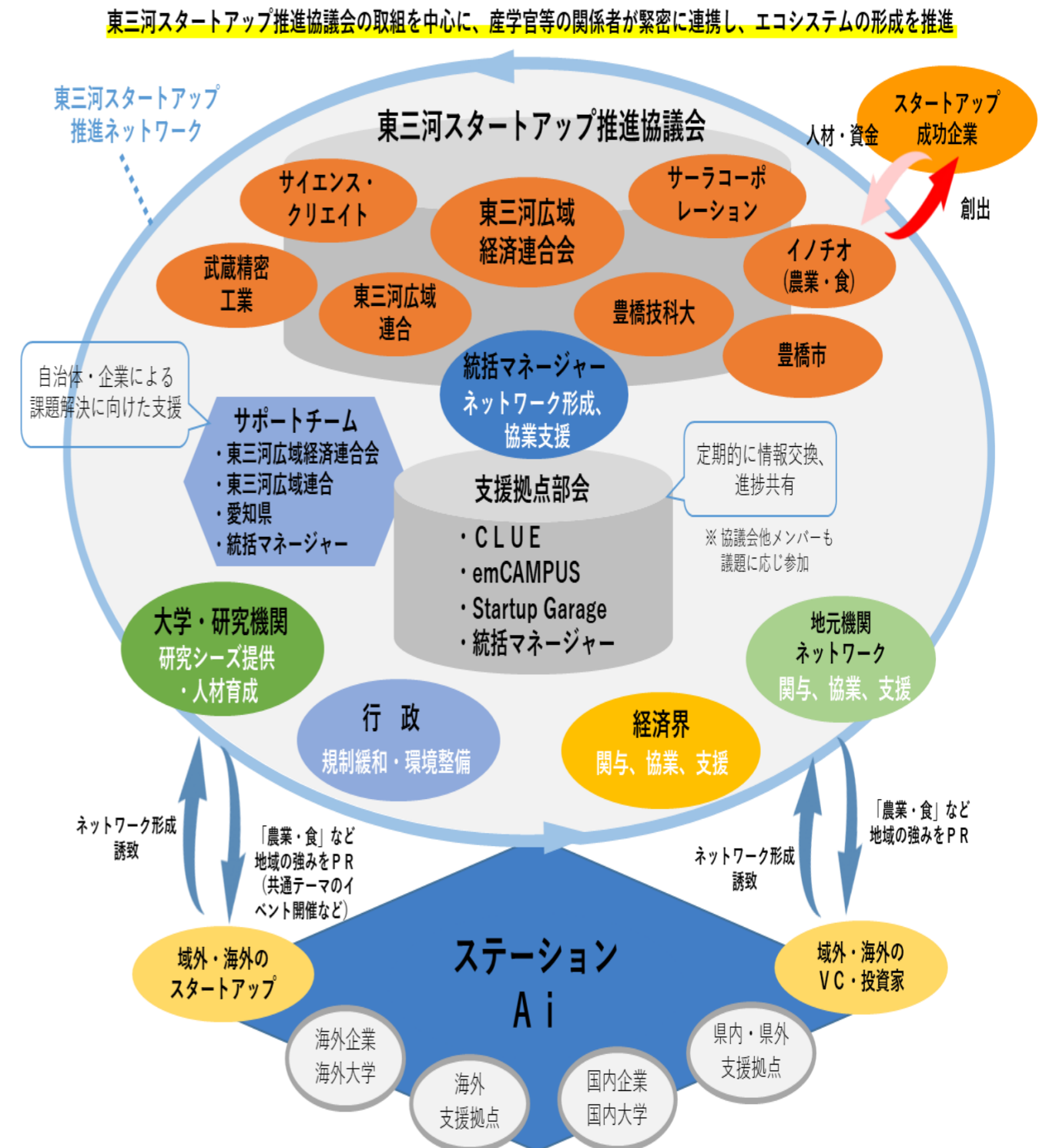
- 東三河地域におけるスタートアップを創出・育成し、優秀なスタートアップの海外や地域外への展開。
- 世界や地域外から「農業・食」（地域の強み）に関わる有力なスタートアップや優秀な人材を東三河地域に呼び込み。

＜運営体制＞

- 東三河スタートアップ推進協議会は地域主体で運営。
- 当該推進協議会の構成員が中心となり、県外などにネットワークを持つ統括マネージャーや地域の関係機関がサポートする体制を構築。

＜今年度の主な取組案＞

- 「農業・食」を中心テーマとしたイベントの連携開催
豊橋駅前大通二丁目再開発により新たに整備される拠点（emCAMPUS）のオープン（11月頃）にあわせ、一定期間「農業・食」を中心テーマとした複数のイベントを各機関が連携開催する。ここで、東三河サテライト支援拠点の取組等をPRし、スタートアップのエコシステム形成を後押し。
- スタートアップの成功事例創出の推進
東三河地域における地域の強みを生かしたスタートアップの取組について、統括マネージャーの知見や、地域の各機関の持つリソース等を活用した支援を行うことにより、地域を挙げて成功事例を創出。



1 調査の目的

「オレンジタウン構想第2期アクションプラン」の柱である、国立長寿医療研究センター（以下、「長寿研」と言う）を中核とした産学官連携による共同研究を推進する中で、スタートアップの革新的ビジネスアイデアや最先端技術・技能を積極的に活用することにより創出が期待される新たなビジネスモデルの可能性を調査。

2 調査の内容と流れ

- ① 優先的に取り組むべき研究課題開発の抽出
- ② 課題解決に繋がる研究シーズ、革新的ビジネスアイデア、最先端技術・技能の洗い出し
- ③ 共同研究テーマの設定
- ④ 共同研究の開始と事業化に向けたビジネスモデルの検討
- ⑤ 出口戦略を踏まえた経営資源の確保

3 調査の進め方

〔基本コンセプト〕

- ステアリングコミッティ（以下、「SC」と言う）を開催し、その下に各共同研究テーマのワーキンググループ（以下、「WG」と言う。）を位置づける。SCのリーダーは国立長寿医療研究センターの荒井理事長が就任。
- 共同研究の進捗管理のため3年間程度のロードマップを作成。各プロジェクトの見える化を図る。

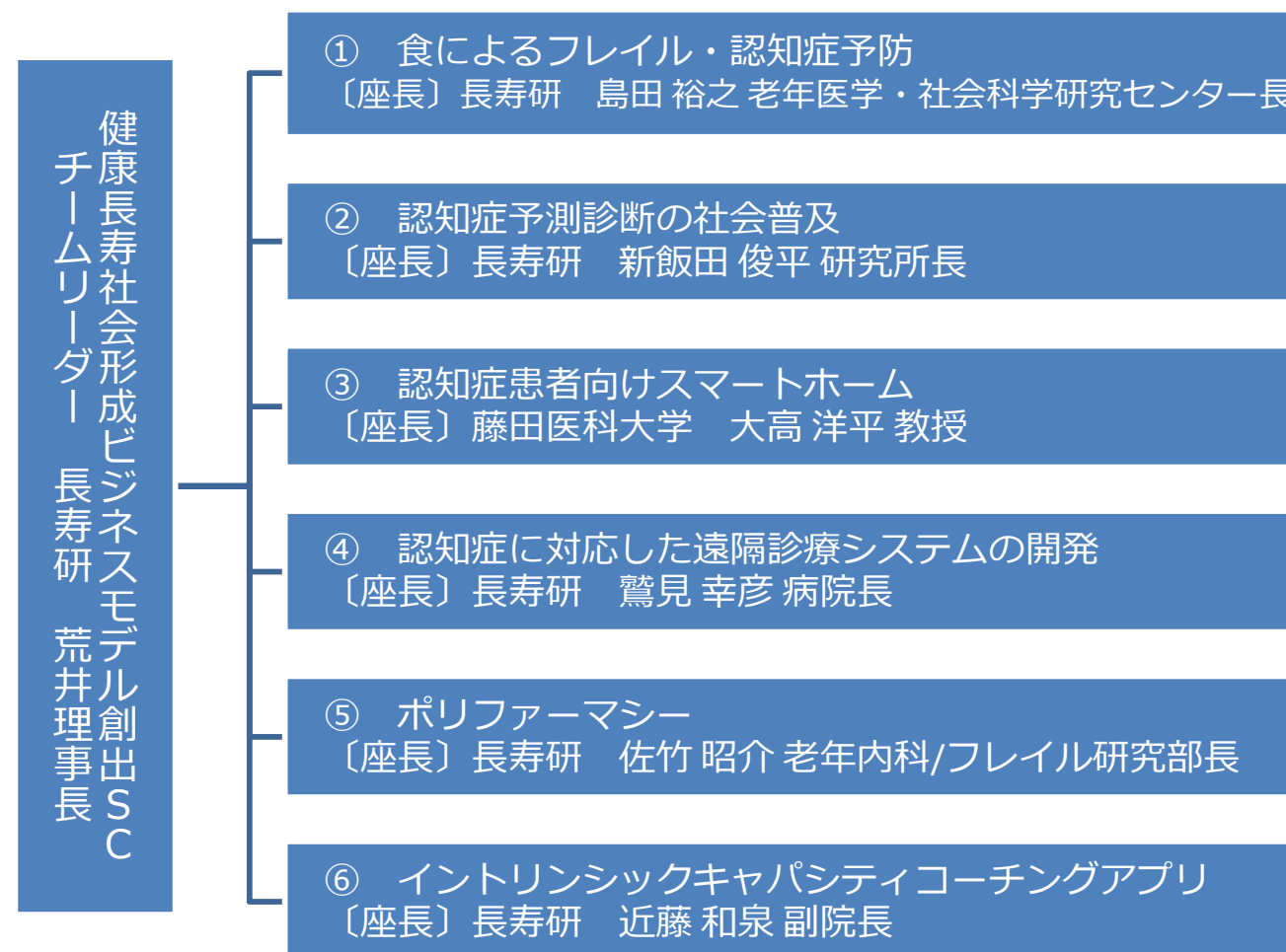
〔出口戦略の考え方〕

- 本調査の成果の速やかなる社会実装に向けて、あいちオレンジタウン構想の一環として具体化していく。



＜国立長寿医療研究センター＞

推進体制〔現在、以下の枠組で共同研究体制を構築することで調整中。確定した段階で別途記者発表予定。〕



＜SCの役割＞

- 健康長寿社会形成ビジネスモデルに関する情報共有
- 愛知県の他の取組み（あいちオレンジタウン構想第2期アクションプラン等）との効果的連携
- WGの進捗管理
- WG結果取りまとめ

開催スケジュール

- 第1回 2021年7月21日
(2021年8月頃)
- 第2回 2021年9月初旬
- 第3回 2021年10月初旬
(中間報告)
- 第4回 2022年1月
- 第5回 2022年3月
(最終報告会)

SCアジェンダ

- 本事業全体のゴールセット（社会課題の明確化）等
(各WGを随時設置)
- 共同研究テーマ具体化に向けた進捗確認及び意見交換
- WG別事業化計画の中間報告
- WG別進捗報告及びロードマップ案提出
- 結果報告（オレンジタウン構想第2期アクションプランへの調査結果のフィードバックについて）

海外スタートアップ支援機関・大学との連携

○ これまで、知事のイニシアチブのもと世界を代表する先進的なスタートアップ支援機関・大学とMOUを締結するなど連携体制を深化。これら連携機関の協力により、愛知県のスタートアップ・エコシステムの加速・拡大に向けた具体的なプログラムが進行。

国名	大学・機関名	MOU締結/プログラム進行状況	主な特徴
(1) アメリカ	テキサス大学オースティン校	・連携プログラム進行中	オースティンのエコシステム形成の中心的役割
(2) シンガポール	シンガポール国立大学	・2019年9月MOU締結 ・連携プログラム進行中	東南アジアのスタートアップ先進地
(3) フランス	INSEAD	・連携プログラム進行中	世界有数の経営大学院
	Paris & Co	・2019年8月MOU締結 ・連携プログラム進行中	12のテーマ別拠点を展開
	IMT Atlantique	・2019年8月MOU締結 ・連携プログラム進行中	フランスの代表的グランゼコールの一つ
	Bpiフランス	・2021年2月MOU締結 ・2021年度より連携プログラム開始	スタートアップの資金調達を重点支援
	Station F	・MOU締結に向けて調整中 ・連携プログラム進行中	世界最大級のスタートアップ支援拠点
(4) 中国	清華大学 (TUSホールディングス)	・2019年9月MOU締結済み ・連携プログラム進行中	中国全土にサイエンスパークを持ちスタートアップ支援
	上海交通大学	・2019年11月MOU締結 ・2021年度より連携プログラム開始	医療・ヘルスケア等に強み
	浙江大学	・MOU締結に向けて調整中	杭州：中国のスタートアップ先進地の一つ



○ 連携プログラム

(1) アメリカ

テキサス大学オースティン校 (UTA) と連携し、「スタートアップ北米市場展開プログラム」と県内の「支援機関向けプログラム」として、UTAのノウハウを学ぶワークショップを実施。



(2) シンガポール

シンガポール国立大学から知見を得ながら、スマートシティ実現をテーマに、国内及び東南アジアのスタートアップと愛知県企業等によるビジネス展開を目指す「協業プログラム」等を実施。



【主な成果 (2020年度)】

スマートシティ実現をテーマに、4の企業・団体と延べ13社のスタートアップ (国内7、海外6) が参加し、ビジネス展開に向けたPoCを実施した。プログラム終了後も、社会実装に向けて複数のプロジェクトが進行している。

(3) フランス

INSEADと連携し、企業内起業家やスタートアップとのオープンイノベーションを推進する人材の創出を目的とする「INSEADイノベーションプログラム」を実施。また、その他の機関とも交流セミナー等の連携プログラムを実施。



【主な成果 (2020年度)】

INSEADの人材育成プログラムには、トヨタ自動車やデンソーなどの県内大企業を始めとする14社から20名が参加し、オープンイノベーション等の知見を習得した。

(4) 中国

中国・清華大学の傘下組織TUSホールディングスと連携し、「県内スタートアップ支援プログラム」として中国市場への展開支援と中国スタートアップと愛知県内企業との協業を目指す「マッチングプログラム」等を実施。



【主な成果 (2020年度)】







県内スタートアップ支援プログラムでは、3社を支援。ピッチイベントに中国企業39名が参加した。マッチングプログラムでは、14社の中国スタートアップが参加し、県内企業との10件の個別協議に結び付いた。

【主な成果 (2019~2020年度)】

スタートアップ北米展開支援プログラムでは、これまで18社が参加し、UTAから潜在的なビジネスパートナー延べ291社の紹介を受け、8件の秘密保持契約 (NDA) 締結やサンプル提供に結び付いた。

国内におけるスタートアップ支援事業

○ 2018年10月に策定した「Aichi-Startup 戦略」に基づき、スタートアップの各成長ステージで生じる経営課題の解決に向けた支援プログラムを、国内事業として展開。

事業名	ステージ (※)	目的	内容	主な成果
あいちスタートアップキャンプ 	Seed	「革新的ビジネスアイデア」で起業しようとする者や起業間もない者の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 起業家育成プログラム…① ○ 名古屋ピッチイベント…② ○ 東京等で開催されるピッチイベント登壇支援…③ 	<2018～2020 年度> ① 参加者数 144名 ② 登壇者数 22組 ③ 登壇者数 6組
プレ・ステーションA i 統括マネージャー・ビジネスプランコンテスト 	Seed	プレ・ステーションA iに統括マネージャーを配置し、相談窓口やスタートアップへの総合支援、ビジネスプランコンテスト等を実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談業務（起業準備、資金調達等）…① ○ インキュベーションプログラム…② ○ ビジネスプランコンテスト…③ ○ PR イベント 	<2020 年度> ① 相談実績 50件 ② 参加者数 8社 ③ 受賞者数 3者
あいちスタートアップ創業支援事業費補助金（起業支援金）	Seed	スタートアップの創出を資金面から支援する起業支援金を支給し、伴走支援を実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補助額：25万円以上、200万円以下（移住を伴う場合は100万円上乗せ） ○ 補助率：1/2以内 	<2019～2020 年度> ・支給件数 28件
Aichi Startup Bridge （パートナーVC制度） 	Seed Early	VCとのネットワーク、当地域へのコミュニティへの参加を通じて、スタートアップとVCが出会いやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ パートナーVCの認定 ○ パートナーVCとスタートアップの定期的なミーティング（出会い）の機会提供 ○ スタートアップの資金調達に向けた勉強会等 	<2021 年度新規事業> ・パートナーVC 13社認定
Accelerate Aichi by 500 Startups 	Seed Early	愛知県内スタートアップの成長支援と、海外スタートアップの愛知への誘引と県内のモノづくり等の事業会社とのオープンイノベーション創出	<ul style="list-style-type: none"> ○ グローバルレベルのアクセラレーター事業者による県内等スタートアップの成長支援プログラム ○ 海外スタートアップ誘引し、県内事業会社とオープンイノベーションを創出するプログラム 	<2021 年度新規事業> ・アクセラレーター事業者 500 Startups
あいちオープンイノベーションアクセラレーター 	Early	愛知県内外からのスタートアップの誘引・育成・支援及び、県内事業会社等とのオープンイノベーション創出（2020年度に事業終了し、上記事業に発展）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内外のスタートアップに対する5か月にわたる集中支援プログラム ○ 県内モノづくり等企業とのマッチング 	<2018～2020 年度> ・参加スタートアップ 25社 ・協業等件数 21件
あいちマッチング 	Expansion	首都圏等スタートアップと県内企業とのビジネスコーディネートによる経営革新、付加価値創造	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビジネスコーディネーターによる個別マッチング ○ 県内及び首都圏等における県内企業と首都圏等スタートアップとのマッチングイベント 	<2019～2020 年度> ・マッチング件数 258件 ・協業等件数 8件
新型コロナウイルス感染症対策新サービス創出支援事業費補助金	Expansion	新型コロナウイルス感染症の社会経済への影響に対応するための新サービス・新製品の開発や販路拡大を行う中小企業等に対する補助	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補助額：75万円以上、500万円以下 ○ 補助率：3/4以内 	<2020 年度> ・支給件数 21件 （スタートアップのみ）

※ スタートアップの成長ステージについて

【Seed】…創業期。コンセプトやビジネスモデルは存在するが、具体的な製品やサービス自体は未完成の状態。

【Early】…事業化初期。製品やサービスを実際に開発し、リリースを始めた状態。

【Expansion】…成長期。製品やサービスの販売が軌道に乗り、黒字化が見えてきた状態。



<スタートアップキャンプ>



<ビジネスプランコンテスト>



<あいちマッチング>

プレ・ステーションA i 事業

1 目的

- 2024年10月開設予定の「ステーションA i」の整備に先駆けて、スタートアップの総合支援を行う拠点「ステーションA i 早期支援拠点」を2020年1月にWeWork グローバルゲート名古屋内に設置。その後、2021年4月に早期支援拠点の機能を拡充・強化した上で、「プレ・ステーションA i」を開設し、スタートアップの総合支援体制を構築。



2 総合支援の対象者

- プレ・ステーションA iの入居者（右の一覧参照）及び入居希望者、愛知県が行うソフト支援事業に参画のスタートアップ、スタートアップとして起業を目指す者など。

3 内容

- オフィス等の提供、起業支援、事業会社とのオープンイノベーション、製品開発、試作品作成、資金調達など、スタートアップ関連事業を集中的に展開。統括マネージャーを配置する「あいちスタートアップワンストップセンター」を設置。



「グローバルゲート名古屋」11階に立地



プレ・ステーションA i 開所式



最近のプレ・ステーションA i の風景

【統括マネージャーについて】

実施体制：プレ・ステーションA iに3名の統括マネージャーを配置
随時、テーマ別のメンターによるバックアップ



しのほら 豊
篠原 豊



やまもと ゆり
山本 有里



てらだ きよたか
寺田 圭孝

(敬称略)

受託会社：パーソルイノベーション株式会社

○ これまでの実績（2020年6月22日～2021年7月31日）：成果件数：計25件

起業	企業との協業	製品開発	試作品作成	資金調達
6件	4件	3件	3件	9件

○ 入居者一覧：36者48名（アルファベット・五十音順）（2021年9月2日時点）

3 DANTZ 技術の問題でお困りの事業者と余力のある企業所属のエンジニアを取り持つて双方の問題を解決。	AI Assist株式会社 「製造業をアップデートする」をビジョンにAI/IoT技術を活用した製造業向けプラットフォームを開発。	BLUE BEES株式会社 プロスポーツ運営とそれを通じた「先端IT人材創出、社会課題解決型」ビジネス。	株式会社CANARY 「家族型健康管理アプリ」を開発し、ウェルネス型事業を展開。
株式会社Cogane Studio 化粧品ビジネスマッチングサイトBenetenの開発と運営。その他アプリ開発、ITサポート事業。	D-Tech 自宅で口内写真を記録し、歯科医から口内環境のアドバイスをもらえるオンライン予防歯科サービス。	futatema デジタルマーケティング育成事業およびマーケティングを活用したコンテンツ企画事業。	Ibis株式会社 意志ある外国人の日本企業での戦力化を図る育成スキームを産学連携で創出、新人財ビジネスを展開。
ICORE 女性向けオンラインキャリア支援プラットフォームICORE（イコア）現在スクール事業開講中。	株式会社ignArt 心理的安全性の高い職場風土の実現を目的としたwebアプリケーションサービスの展開。	Kirakuna株式会社 サッカーチームのDX、選手の育成事業およびマーケティングを活用したコンテンツ企画事業。	Libful グレーゾーンの子、障害を持つ子の親向け、似た境遇の先輩親とのオンラインマッチング。
株式会社New Ordinary 移動価値の創出を目指す企業。あなたが感じる移動したくなる目的をAIでレコメンド。	Our Ethical 自分にぴったりのエシカル商品が見つかるオンラインマーケットプレイス。	株式会社Opt Fit 危機探知システムからジム内顧客動向解析を可能にする、フィットネスジムのDX化支援事業。	株式会社Papillon eSport大会の開催・運営をスマホ1つで簡略化できるアプリを開発。
picks design 地域ならではの体験を家から楽しめるオンライン体験サービス。	株式会社R Tプロジェクト 建築現場のサポートアプリ「GENCHO」及びプラットフォームの開発。	Senscom 独自の感情推定技術で快適さを測定し様々なサービスの評価に反映。	株式会社Step In International AIを導入した体作り・サプリメントを使ったカフェの展開による健康水準向上をサポートする事業。
SACIQ株式会社 リアルタイム翻訳と外国人・日本人の出会いを通して新たな言語学習方法を提供するサービス。	SWIMMER株式会社 製造現場が手に取るように見える生産管理を実現し、ジャストインタイム方式の儲かる現場を提供。	T3XI 「オールフレイル」に対応した発話力向上トレーニングプラットフォーム『MOUMOO』事業。	株式会社Team Presso コワーキングスペース・シェアオフィス運営をサポートするシステム「CoWorks」の提供。
株式会社TOWING 高機能ソイル栽培システムの開発や販売、運用、導入支援等を行う名古屋大学発ベンチャー。	Vertech Consulting株式会社 未経験エンジニアとベンチャー中小企業のITエンジニア採用をマッチングさせるプラットフォーム。	えいぶら 教育×AIを軸に人の作業を機械で代替するシステムを開発・提供。	株式会社カチナ 新規事業の営業に特化したデザイン&マーケティングオートメーションサービス。
株式会社ジースメーズ ニューノーマル時代のコラボレーション・ワークハブmuuvの開発・提供。	ちくわてつ テレワークを支援する額縁型デバイスの販売事業。	どんぐりビット合同会社 AIシェア冷蔵庫など、地域密着型需給マッチングプラットフォームによりフードロスゼロを目指す。	バスカルボラボ合同会社 IoT機器向け認証製品の企画、開発、販売及び導入支援サービス。
株式会社ファースト・オートメーション 産業用ロボット導入プラットフォーム開発。ロボット導入のハードルを下げ営業プロセスを改善。	フェアトレードマルシェ株式会社 フェアトレード/エシカル消費市場の電子通貨プラットフォーム事業。	ふれAI 家族の声のアルバム「ふれAIレコーダー」のサービス事業、及び感情解析AIを活用した事業開発。	株式会社ミライ菜園 野菜の病害虫診断&栽培SNSアプリSCIBAIの提供。

スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市

- 「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」は、国が、我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点形成計画を認定するもの。
- 選定された都市に対して、国は、海外展開支援や規制緩和等を積極的に実施。当地域は、2020年7月に本拠点都市に選定された（※）。
- 中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市、浜松市をコアメンバーとしてコンソーシアムを組成し、各機関が実施する施策を中心に形成計画を作成。
- 愛知県の施策としては、「ステーションA i」を中核とした「Aichi-Startup 戦略」に位置づけた主な事業を反映。

（※）スタートアップ・エコシステム拠点都市一覧

【グローバル拠点都市】

- ・スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム
- ・Central Japan Startup Ecosystem Consortium (当地域)
- ・大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム
- ・福岡スタートアップ・コンソーシアム

【推進拠点都市】

- ・札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会
- ・仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会
- ・広島地域イノベーション戦略推進会議
- ・北九州市 SDGs スタートアップエコシステムコンソーシアム

【コンソーシアムの組成】

- ▷ 名称：Central Japan Startup Ecosystem Consortium
- ▷ 構成：Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium、浜松市スタートアップ戦略推進協議会
- ▷ 代表者：一般社団法人中部経済連合会会長
- ▷ 構成組織：一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市（事務局）、浜松市始め 172 企業・団体・大学等
- ▷ コンセプト：
 - ① 卓越した次世代教育を受けた人材の輩出
 - ② 海外ネットワークの拡大・深化と求心力の強化
 - ③ ディープテックを活かした共創・オープン化による社会実装・社会課題解決
 - ④ ベンチャーファイナンスの仕組みを構築

【J-Startup CENTRAL の選定】

- 経済産業省が実施する官民集中支援プログラム「J-Startup」の地域版である「J-Startup CENTRAL」を開始。
- 2021年1月に当地域からグローバルな活躍を目指すスタートアップを選定。
 - ▷ 対象：愛知県内及び浜松地域に本社のあるスタートアップ、起業後概ね10年以内の企業
 - ▷ 選定者数：20社（愛知・名古屋地区14社、浜松地区6社）

【内閣府アクセラレーションプログラムへの参加】

- 内閣府において、グローバル拠点都市のスタートアップを対象として海外トップアクセラレータによるアクセラレーションプログラムを実施。
- J-Startup CENTRAL 選定企業のうち、当地域から12社が参加。
 - ▷ 時期：2021年1月末～3月末（4月13日、15日にデモデイ開催）
 - ▷ 内容：海外トップアクセラレータ（※）の実施するアクセラレーションプログラムに参加し、事業構想策定、プロモーション活動に係る支援等を受け、海外投資家等に対するデモデイを通じ、海外市場展開、ネットワークの構築等を目指す。

（※）Techstars (Born Global Course)、WiL World Innovation Lab (Global Preparation Course)



**J-Startup
CENTRAL**

〔ロゴの意味〕

「J-Startup」のロゴがベース。

カラーはディープテックを表すディープブルーとスタートアップの進取の気風を表すグリーン。